

## 一 般 講 演

### 1) 第1回歯科医師臨床研修指導医ワークショップの概要

○鎌田 政善, 佐藤 暢昭<sup>1</sup>, 嶋倉 道郎, 天野 義和<sup>2</sup>  
(奥羽大・歯・補綴Ⅰ, 保存Ⅰ<sup>1</sup>, 保存Ⅱ<sup>2</sup>)

歯科医師法の改正により, 平成18年から卒後臨床研修が必修になったことは周知のことである。そこで, 歯科医師臨床研修指導医のリーダーを養成し, 臨床研修の充実と向上を図ることを目的とした, 歯科医師臨床研修指導医ワークショップを開催したので, その概要と本学附属病院における臨床研修の問題点の抽出とその対策について, および参加者による本ワークショップに対する総合評価について報告した。

参加者が21名であったので, 7名ずつA・B・Cの3グループに分けて, 望ましい学習活動とは(S-I), KJ法による問題点の抽出(S-II), 研修目標(S-III), 研修方略(S-IV), 研修評価(S-V)および二次元展開法による問題点への対応(S-VI)の6セッションについて, それぞれタスクフォースによる簡単な解説を行った後, グループ討議を行い, その結果を発表し, 全体討議をするといった内容で進めた。

本学附属病院における臨床研修の問題点の抽出およびその対応については, Aグループではハードシステム(研修施設の不備), Bグループでは指導医(指導医の質と数), Cグループでは研修システムを最も重要で緊急度の高いものとして選択し, その対策が述べられた。このように3グループとも異なった問題点とその対策が挙げられたことから, 本学での臨床研修には改善すべき点が山積みされていることがうかがわれた。

本ワークショップに対する参加者による総合評価では, 内容の価値については, かなり価値ありと答えた方が75%いた。ワークショップ形式の教育方法としての効果については, かなり効果的と答えた方が57.2%で, 極めて効果的と答えた方が23.7%いた。また, このワークショップで示されたような教育学的方法を取り入れようと思いますかといった質問には, かなり取り入れてみたいと

答えた方が52.4%いた。今後ともこういうワークショップを持つことに対して, といった質問に; 是非持つべきであると答えた方が52.4%で, 持つ方がよいと答えた方が28.6%いた。本ワークショップに対して参加者から高い評価を頂いたが, 改善すべき点などがあるので, 今後の参考にしたいて考えている。

### 2) 磐梯町医療センター歯科における患者受診状況

○久保田優里, 金 秀樹, 中江 次郎  
高田 訓, 大野 敬, 五月女 稔<sup>1</sup>  
山崎 隆史<sup>1</sup>, 高津 寿夫<sup>1</sup>, 橋本 紀子<sup>2</sup>

(奥羽大・歯・口外, 保存Ⅰ<sup>1</sup>, 磐梯町医療センター歯科<sup>2</sup>)

(緒言) 平成13年12月に耶麻郡磐梯町に磐梯町医療センターが開設され, 開設当初より医科, デイサービスセンター, 在宅介護支援センターに加えて歯科が併設されており, 歯科においては本学附属病院から歯科医師の派遣が行われている。今回, 磐梯町における地域歯科医療への貢献を目的に, 患者受診状況について検討した。

(検索項目) 平成13年12月から平成14年7月までの8か月間に磐梯町医療センター歯科を受診した初診患者496名を対象とした。検索項目は初診患者の男女比, 初診患者の各年齢層における受診率, 月別受診患者数と初診患者数の推移, 曜日別の受診患者数と初診患者数の推移, 疾患名別の割合, 診療内容別の割合, 初診患者の全身的既往症の有無とした。

(結果) 1. 受診患者の男女比では男性48.2%女性51.8%であった。2. 町の全人口の11.8%が磐梯町医療センター歯科を受診しており年齢層の比較では老人の受診率が高かった。3. 月別受診患者数の推移では女性が増加傾向にあった。4. 診断名別の割合においては, 齲蝕が最も多く27.6%, 次いで歯牙欠損22.6%, 歯周病が21.5%の順であった。5. 診療内容別の比較においては, 保存系処置34.1%と最も多く, 次いで補綴系処置31.0%, 口腔外科系処置24.3%, 小児歯科系処置10.6%の順であった。6. 全身的既往症を有する患者は初診患者の29.4%でその内訳は高血圧症62.3%, 心疾患32.9%, 糖尿病19.2%であった。